

証券コード:5013

 ユシロ化学工業株式会社

第86期

報告書

2018年4月1日 ▶▶▶ 2019年3月31日

The Way
Of Mutual Progress

時代とともに、顧客とともに。

「共々の道」という理念をカタチに。

The Way Of Mutual Progress

油(ユ)・脂(シ)・蠟(ロ)を主原料とする化学技術と、独自のブレンド技術を駆使し、戦後いち早く復興した繊維産業への経糸糊付用油剤を皮切りに、自動車産業・鉄鋼産業への金属加工油剤やビルメンテナンス業界に向けたケミカル製品など、時代を先取りする製品を開発・供給することで、わが国基幹産業の発展に貢献してきました。

創業者の提唱した企業理念「共々の道」は、お客様とユシロの、地域社会とユシロの、そして社員とその家族とユシロの「共々の道」であり、この理念によって、お客様の深い信頼と温かいご愛顧を頂けたものと信じております。

「共々の道」は70有余年の時空を越えて全社員の中に生き続いており、今後も永遠に受け継いでまいります。

企業理念 共々の道

社 是

1. 独自の風格ある製品
2. 間口よりも奥行きのある研究
3. 進歩は常に需要と共に

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第86期の事業の概況についてご報告申し上げます。



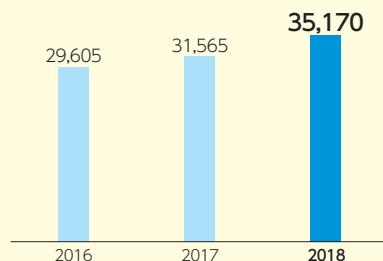
代表取締役社長

大胡 新一

連結財務ハイライト

売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



経常利益

(単位：百万円)



事業の概況

当連結会計年度における世界経済は、緩やかではあります但し拡大基調を維持しております。しかし米中対立や米国内での政治対立、英国のEU離脱問題等の政治・外交的な問題が世界経済に影響を及ぼしております。また中国の景気減速が徐々に新興国にも波及しており、不透明感は更に深まる状況にあります。同様に日本経済も底堅い成長は続けているものの外需の減速を受け不透明感が高まっております。

このような環境下、売上高は好調な日系の自動車生産を背景に昨年8月から当社グループの一員となった米国QualiChem社の影響もあり、前期比11.4%増の35,170百万円となりました。しかしコスト面において全ての拠点で販売製品の主原材料である鉱油の価格や化成品の価格が前期と比較して上昇し、それを製品売価に転嫁しきれず利益を大きく押し下げる要因となりました。その結果、営業利益は前期比17.0%減の2,076百万円、経常利益は前期比18.8%減の2,634百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比22.6%減の1,724百万円となりました。

2019年度の経済情勢については、世界経済は米中の経済摩擦、英国のEU離脱問題など先行き不透明な

状況が続くと予想されますが、日本経済においては、緩やかに持ち直してきております。

このような状況下、米国QualiChem社との協業を強力に推進し、また需要が見込める地域及び新規分野開拓に経営資源を投入することで、経営基盤の強化そして企業価値向上を目指してまいります。

次期の連結業績の見通しについては、売上高41,000百万円(前期比16.6%増)、営業利益は2,700百万円(前期比30.0%増)、経常利益は3,200百万円(前期比21.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,200百万円(前期比27.6%増)を見込んでおります。

利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、グローバルな事業展開及び連結業績を勘案した利益還元を当社の利益配分に関する基本方針としており、株主の皆様に対しても企業価値向上のための設備投資を考慮した上で利益還元することとしております。

期末配当金につきましては、2019年3月期業績を踏まえ、1株当たり25円とすることを決議いたしました。この結果、1株当たりの年間配当金は、中間配当金と合わせて45円となります。

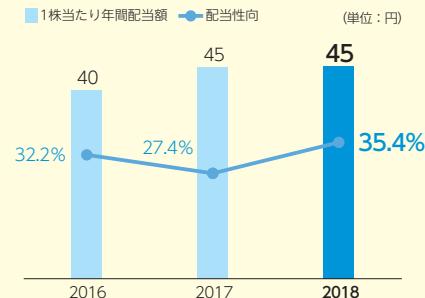
親会社株主に帰属する当期純利益／1株当たり当期純利益



純資産／自己資本比率



1株当たり年間配当額／配当性向



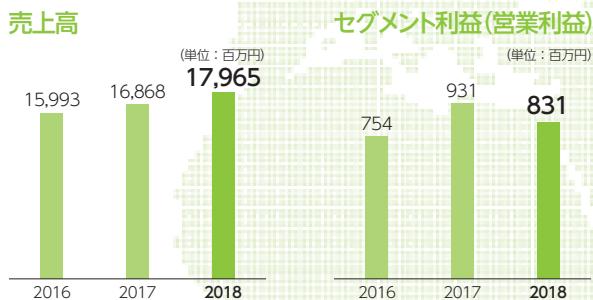
● セグメント情報 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)

セグメント
ハイライト

全セグメントにおいて前期比で増収となりましたが、原材料価格高騰等の影響により日本、南北アメ
2018年8月31日をもってQualiChem社株式の100%を取得し、同社が南北アメリカセグメントに



堅調な国内自動車生産の影響を受け既存顧客への販売増等によりセグメント売上高は、前期比6.5%増の17,965百万円となりました。セグメント利益は原材料費の増加を製品売価に転嫁しきれず、前期比10.8%減の831百万円となりました。



- ユシロ運送株式会社
● ユシロ・ゼネラルサービス株式会社
● 日本シー・ビー・ケミカル株式会社
- 連結子会社



既存の米国子会社は拡販に努めたものの日系自動車生産減の影響で前期並みの実績ではありましたが、昨年8月から当社グループの一員となった米国QualiChem社の実績及びメキシコ、ブラジルの子会社での増収によりセグメント売上高は前期比32.0%増の7,537百万円と前期を大きく上回りました。しかしセグメント利益は、QualiChem社の利益貢献はありましたがブラジルでのレアル安に伴う原材料価格高騰及び米国子会社におけるM&A関連費用(159百万円)により前期比26.0%減の396百万円となりました。



- ユシロマニュファクチャリングアメリカInc.[米国]
● QualiChem, Inc.[米国]
● ユシロブラジルインダストリアケミカLtda.[ブラジル]
● ユシロメキシコS.A. de C.V.[メキシコ]
- 連結子会社

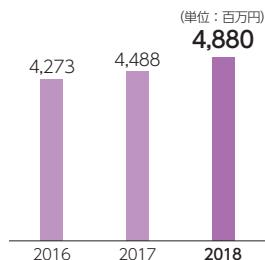
持分法適用関連会社 …………… 汎宇化学工業株式会社(韓国) 株式会社汎宇(韓国) 三宜油化股份有限公司(台湾)

リカ、中国セグメントにおいて前期比で減益となりました。
追加となりました。



中国国内における2018年度の自動車生産台数は減少しましたが、日系自動車メーカーは好調を維持し前期より増加しております。その影響もあり売上高は前期比8.7%増の4,880百万円となりました。セグメント利益は、原材料費及び人件費の増加により前期比11.4%減の441百万円となりました。

売上高



セグメント利益(営業利益)



連結子会社

- 上海尤希路化学工業有限公司[中国]
- 啓東尤希路化学工業有限公司[中国]
- 広州尤希路油剤有限公司[中国]
- 泰興西碧化学有限公司[中国]



各拠点とも日系自動車メーカーの生産台数増を背景に順調に業績を伸ばしており、その結果セグメント売上高は前期比6.4%増の4,787百万円となりました。セグメント利益は、原材料費高騰等の影響もありましたが前期比1.4%増の535百万円となりました。

売上高



セグメント利益(営業利益)



連結子会社

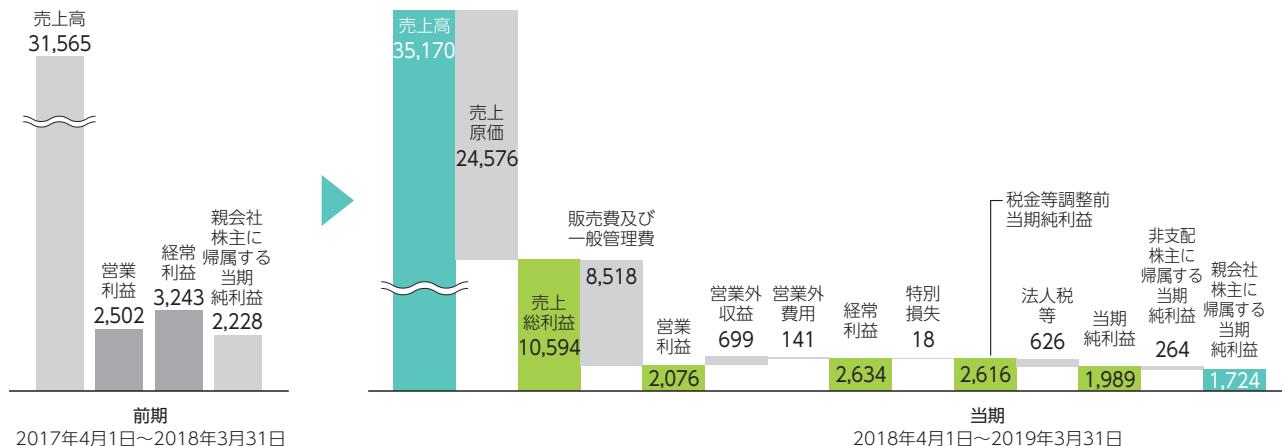
- ユシロマレーシアSdn.Bhd.[マレーシア]
- ユシロ(タイランド)Co.,Ltd.[タイ]
- Siam Cee-Bee Chemical Co.,Ltd.[タイ]
- ユシロインドアカンパニーPvt.Ltd.[インド]
- PT. ユシロインドネシア[インドネシア]

● 連結財務諸表

※金額は、百万円未満を切捨表示しております。

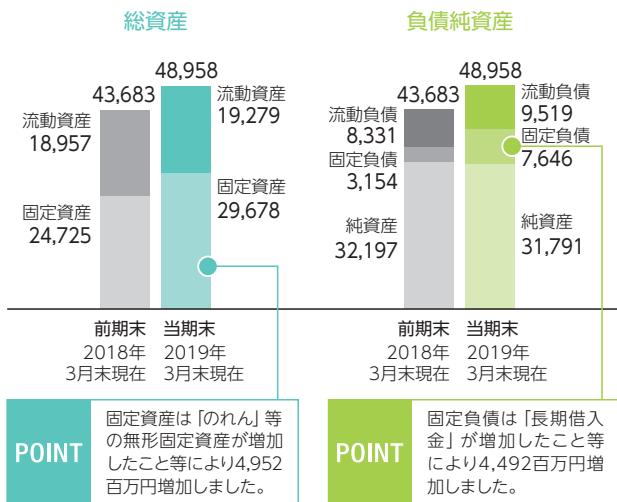
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



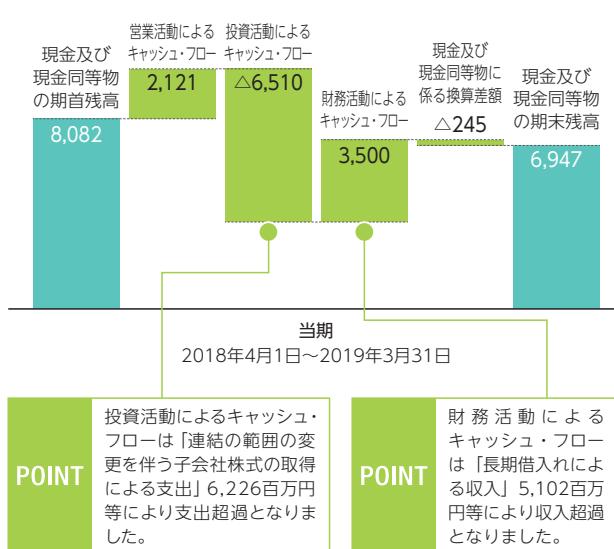
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



● 会社データ (2019年3月31日現在)

■ 会社概要

社名	ユシロ化学工業株式会社 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.
本社所在地	〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16 TEL (03) 3750-6761 FAX (03) 3750-1146
ホームページ	https://www.yushiro.co.jp/
設立	1944年(昭和19年)7月24日
資本金	4,249百万円
従業員数	311名(連結1,034名)
当社グループの 主な製品等	金属加工油剤関連 切削油剤、研削油剤、塑性加工油剤、アルミ離型剤、 金属表面処理剤、水処理剤、その他関連製品 ビルメンテナンス関連 樹脂ワックス、洗剤、その他関連製品及び機器

■ 役員 (2019年6月25日現在)

代表取締役社長	大胡 栄一
常務取締役	有坂 昌規
常務取締役	菊池 慎吾
取締役	濱元 伸二
取締役	石川 拓哉
取締役	高橋 誠司
取締役*	中野 雅文
取締役(監査等委員)*	飯塚 佳都子
取締役(監査等委員)*	山口 豊
取締役(監査等委員)*	小柴 美樹(現姓 大鐔)
取締役(監査等委員)	山崎 敏男

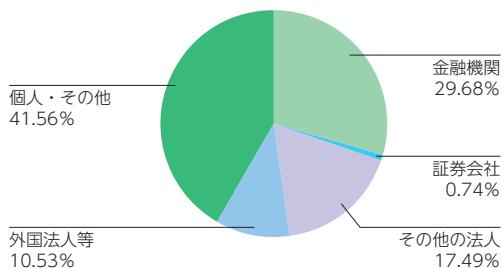
*は社外取締役です。

● 株式情報 (2019年3月31日現在)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	29,180,000株
発行済株式数	13,900,065株
株主数	4,306名

所有者別株式分布状況



■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	1,057	7.78
ユシロ化学工業取引先持株会	889	6.55
株式会社三井住友銀行	622	4.58
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	580	4.27
スズキ株式会社	549	4.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	398	2.93
株式会社三菱UFJ銀行	316	2.32
ユシロ化学工業従業員持株会	302	2.22
三井住友海上火災保険株式会社	286	2.10
BBH BOSTON FOR NOMURA JAPAN SMALLER CAPITALIZATION FUND 620065	249	1.83

*当社は、自己株式322千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は、自己株式を除いて算出しております。

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	3月31日
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公 告 方 法	電子公告とし、当社ホームページ (https://www.yushiro.co.jp/) に掲載 いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

ホームページのご案内

最新ニュース、決算情報など、株主・投資家の皆様に役立つ情報を掲載していますので、ご利用ください。

ユシロ化学工業

検索

<https://www.yushiro.co.jp/>



単元未満株式を ご所有の株主様へ

単元未満株式(1~99株)については市場で売買することができませんが、口座管理機関(証券会社等)*を通じ、当社に対して**買取請求(売却)**をすることができます。お手続きの方法等については、口座管理機関にお問い合わせください。

※特別口座に登録されている株式については、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部)までお問い合わせください。

(例) 株主様が60株ご所有の場合 【買取請求(売却)の場合】



特別口座を ご利用の株主様へ

特別口座に登録されている単元株式については、特別口座のままでは売却できません。株式の売却等を円滑に実施するため、証券会社等への口座開設および特別口座からの振替手続きをお勧めします。なお、お手続きの方法等については、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部)までお問い合わせください。

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 **ユシロ化学工業株式会社**

URL <https://www.yushiro.co.jp/>



UD FONT

この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
見やすく読みまらぐいにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。